



情報誌

FAR

66 号

事務局：公益社団法人 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町 167 ビューフォート五条烏丸 3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556/http://www.jsrt.or.jp. Email:office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

FAR 会この頃

会 長 藤田 透



昨年 4 月、パシフィコ横浜で開催されました世話人会で会長に選任されて 1 年が経過しました。会員・世話人の皆様のご協力のお蔭で大過なく運営され、感謝しています。

思えば、この 3 年間は covid-19 の蔓延で世界中が振り回され、JSRT 及び FAR 会も大きな影響を余儀なくされてきました。

JSRT の会員数にも多少の影響を受けたそうですが、20～40 歳代の女性会員数は増加傾向との嬉しい変化もあったようです。学術大会や会議等が web 開催となり、計画されていた事業も中止となったこと等により事業支出（必要経費）が抑制され、学会システム（ラクネ）のシステム強化や会費還元（go-to JSRT、各種割引）等に充てられているそうです。

FAR 会におきましても 2 年間（4 回）にわたって懇親活動の中止を余儀なくされ、世話人会等もメール会議となりました。そのこともあって会員数の減少が深刻な問題となっていますが、昨年は白石代表理事を始めとする現役役員（会員）の皆さんに入会いただけたことは明るいニュースでした。JSRT 執行部の皆さんとの交流の場が増えることにより、FAR 会の目的でもある「JSRT の発展を支援する」ことに繋がる効果が得られるものと思っています。

長かったコロナ禍も、ワクチン効果もあり最近になってやっと落ち着きを見せてきました。厚労省は今年 3 月 13 日からマスク着用等の新基準を公表し、5 月 8 日からは 2 類から 5 類感染症へと感染症法上の位置づけ変更も決めました。当分は混乱するでしょうが「普通」に戻る大きな一歩になるものと思います。JSRT におきましては 3 月 13 日付で新基本方針を公表したことはご存知の通りです。FAR 会におきましても昨年 4 月から face to face の世話人会も開催できるようになり、春秋の学術大会に合わせた懇親の夕べも開催できるようになったことは今後の活動に光が差してきたと喜んでいます。

「普通」に戻ってきた今、残された 3 年の任期で一人でも会員数を増やせるよう方策を練りたいと思っています。FAR 会への入会資格は JSRT 役員経験者としていますが、役員経験がなくても FAR 会会員の推薦により学会関係者であればどなたでも入会できます。会員の皆様におかれましては、周囲の皆様にお声がけいただき入会を勧めていただきますようお願いいたします。

FAR 会 URL : <https://www.jsrt.or.jp/far/>



内 容

- | | |
|---------------------------|-----------|
| 1. ごあいさつ | 会 長 藤田 透 |
| 2. 2023 年 FAR 会 懇親の夕べ報告 | 代表幹事 佐藤幸光 |
| 3. 2023 年 FAR 会 秋季懇親の夕べ案内 | 代表幹事 藤田卓造 |
| 4. 会からのお知らせ | |
| 5. 2022 年度事業報告 | |
| 6. 2023 年度事業計画 | |
| 7. JSRT 情報 | |
| 8. 編集の小窓 | |

《2023 年 FAR 会 懇親の夕べ》 報告

代表幹事 佐藤幸光

ようやくコロナ禍が終息の段階に入り、マスクの使用が個人の判断に任される状況下で、学会に参加される若い会員の皆さんの姿を横目に見ながら、夕刻の7時に元町・中華街の「菜香新館」に三々五々、参加者の皆さんにお集まりいただきました。

小雨の中、元町・中華街の人並みは予想以上に多く、コロナ禍での閑散とした元町・中華街の佇まいとは雲泥の違いで、大きな賑わいを見せておりました。

第1陣で会場に到着されたメンバーのもと、藤田 透会長とお元気で笑顔の絶えない川上壽昭名誉会長にご挨拶をいただいた後に、乾杯のご発声を神澤良明副会長にお願いし、しばしの歓談に移りました。総会の終了後に、30分遅れで第2陣の皆さんが、懇親会場に到着されました。第79回総会学術大会において代表理事に選出されました石田隆行先生、第79回総会学術大会大会長、市田隆雄先生、実行委員長の辰巳大作先生方をお迎えし、ご挨拶をいただいた後に、全員で28名の参加のもと、森 克彦副会長の乾杯の辞とご発声のもと、久しぶりの元町・中華街での広東料理に舌鼓を打ちながら、懇親の夕べが始まりました。宴の後半の時間帯で、今年の11月で80歳を迎えられる内山幸男先生にマイクをお渡しして、わずかな時間でしたが、内山先生の現在の心境を語っていただきました。約60年近く臨床現場、教育現場で放射線治療分野ではご高名で、ご活躍されてこられた内山先生の人生の軌跡の一端を伺うことができました。

内山先生のテーブルにご挨拶に伺った折、「先生も80歳まで現役で頑張れ！」との力強い激励をいただきました。今、教育現場に身を置いている私へのエールと受け止めさせていただき、あと80歳までの6年間ほど、健康と気力に気遣いながら、高いモチベーションを持ち続けて、最終のゴールに近づけることができるように頑張りたいという思いに至った次第です。

第51回秋季学術大会は、本年10月27日より3日間の日程で名古屋国際会議場において開催されますが、FAR会の世話人会議と懇親の夕べもまた、同時に開催されます。

藤田卓造代表幹事のもとで、懇親の夕べをご準備していただくことになっておりますが、FAR会の世話人、会員の皆様との再会を楽しみに、多くの方々のご参加を願っております。

わずか2時間の懇親の夕べでしたが、広東料理の味はいかがであつたでしょうか？

小雨のなかご参加をいただき、ありがとうございました。ご参加いただきました皆様の今後のご健勝とご多幸を心よりご祈念しております。

(素敵な皆様を一同に会した写真を掲載しました。ご覧ください。😊)



《2023 年 FAR 会 秋の懇親の夕べ》案内

代表幹事 藤田卓造
幹 事 本間龍夫、内山幸男

日 時：2023 年 10 月 27 日(金) 19 時～21 時
場 所：〒460-0023 名古屋市中区金山町 1-1-1
ANA クラウンプラザホテル グランコート名古屋 29 階
中国料理「花梨」(カン) 電話 052-683-4638
金山総合駅 南口より徒歩 1 分

www.anacrowneplaza-nagoya.jp

会 費：10,000 円

参加申込締め切り：2023 年 8 月 15 日(火)・当日消印有効



交通機関

名古屋国際会議場からは地下鉄名港線「日比野」及び名城線「西高蔵」共に 1 区間と近くです。又、金山総合駅の周囲に高層建築物は有りませんので綺麗な名古屋の風景を見る事が出来るでしょう。尚、当日のご連絡は、藤田卓造の携帯電話：090-1286-4918 をお願いします。

《会からのお知らせ》

《2022 年度事業報告》

1. 庶務報告

会員状況

- ①会 員 数：88 名(内 名誉会員 16 名)2023 年 3 月 31 日現在
- ②新規入会者：土橋俊男(2022 年 8 月 24 日 入会)
- ③退 会 者：稲井 敬(2022 年 8 月 2 日逝去)
土井邦雄、川野 誠、松原 馨(会費未納で 2022 年 9 月 15 日付け)
ただし、川野 誠は 2023 年 2 月 20 日に会費を納入し、会員に復活した。
清水久子(自己申請 3 月 31 日)

2. 会議報告

世話人会の開催

1) 2022 年度第 1 回世話人会

日 時：2022 年 4 月 16 日 14：00～15：30

場 所：パシフィコ横浜会議センター412 室

出席者：石井 勉、井手口忠光、今井方丈、江口陽一、江島光弘、小川 清、神澤良明、
小水 満、佐藤公悦、佐藤幸光、隅田博臣、草山泰子、錦 成郎、橋田昌弘、
平野浩志、藤田卓造、藤田 透、堀田勝平、本間龍夫、前田幸一、森 克彦 以上 21 名

欠席者： 4 名

議 長：藤田 透、記録：神澤良明

開会に先立ち前会長川上壽昭、前副会長(総務委員長)山 哲男から退任の挨拶があった。

①2022 年度からの会長の互選(任期 4 年)

出席世話人の互選により藤田 透を会長に選任した。(規約第 9 条 3 項)

②会長より下記の指名があった。(規約第 9 条 4 項)

副 会 長：森 克彦、神澤良明、小水 満、草山泰子

会 計 監 査：前田幸一

庶務・会計：錦 成郎

編集委員長：森 克彦

総務委員長：神澤良明

藤田会長を議長に選出し、議事に入った。

(錦事務局長より資料を基に報告があった。)

詳細は上記庶務報告並びに事業報告と重複するので割愛する。

- ③2021 年度 事業報告・収支決算報告並びに、会計監査報告はすべて議事資料の通り承認された。
会務報告があり、今後の予定などを審議し全て承認された。



2) 2022 年度第 2 回世話人会

日 時：10 月 7 日(金) 15：00～17：00

場 所：国際ファッションセンター 10 階 Room107(第 5 会議室)

出席者：江口陽一、江島光弘、小川 清、神澤良明、小水 満、草山泰子、錦 成郎、
平野浩志、藤田卓造、藤田 透、本間龍夫、前田幸一、森 克彦 以上 13 名

欠席者：12 名

会務報告の後、活動予定について会議資料を基に審議し、資料の通り承認した。

3) 2022 年度運営・総務合同委員会

日 時：2023 年 1 月 13 日(金) 16:30～17:30

場 所：JSRT 事務局会議室

出席者：藤田 透、錦 成郎、森 克彦、神澤良明、小水 満、漢那憲聖、草山泰子 以上 7 名
2023 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の計画等を審議した。

- ①事業計画案・収支予算案は、その策定を正副会長ならびに、正副総務委員長に一任し、
2023 年度第 1 回世話人会議に提案する事とする。

- ②編集委員会より情報誌 66 号の企画案が提示され承認した。

- ③編集委員会より委員の追加提案があり承認した。

追加委員：小川 清(埼玉県上尾市)

- ④会員相互に共通する情報交換を JSRT と連動したホームページ並びにメーリングリストを用いて
推進するとともに、新入会員の加入に努める。

3. 懇親活動報告

- 1) 第 78 回総会学術大会時に「2022 年 FAR 会 懇親の夕べ」を開催した。

代表幹事：石井 勉

日 時：2022 年 4 月 16 日(土)、

場 所：「美農吉」横浜ランドマークプラザ店

会 費：10,000 円

参 加 者：26 名

- 2) 「FAR 会事務局歓送迎会」を京都で開催した。

宮高 睦(退職)、井口佳代(定年退職)、錦 成郎(事務局長就任)

世 話 人：藤田 透、神澤良明

日 時：2022 年 4 月 30 日(土)

場 所：ホテルオークラ京都

会 費：11,000 円(会長交際補遺で補填：7,950 円)

参 加 者：23 名

- 3) 第 50 回秋季学術大会時に「2022 年 FAR 会 秋季懇親の夕べ」を東京都で開催した。

代表幹事：森 克彦

日 時：2022 年 10 月 7 日(金)

場 所：第一ホテル両国(5F)「北斎」東京都墨田区横網 1-6-1

会 費：11,000 円

参 加 者：24 名

4. 情報誌

- 1) 情報誌第 63 号を 2022 年 5 月 15 日付け、全 16 頁で発行した。

- 2) 情報誌第 64 号を 2022 年 9 月 15 日付け、全 8 頁で発行した。

- 3) 情報誌第 65 号を 2023 年 1 月 15 日付け、全 12 頁で発行した。

5. 2023 年度 第 1 回世話人会議を開催

日 時：2023 年 4 月 15 日(土) 15:00～16:30

場 所：パシフィコ横浜国際会議センター 422 会議室

出 席 者：今井方丈、上田克彦、江島光弘、小川 清、神澤良明、小水 満、佐藤公悦、
佐藤幸光、隅田博臣、草山泰子、錦 成郎、橋田昌弘、平野浩志、藤田卓造、
藤田 透、本間龍夫、前田幸一、森 克彦、以上 18 名

欠 席 者：7 名

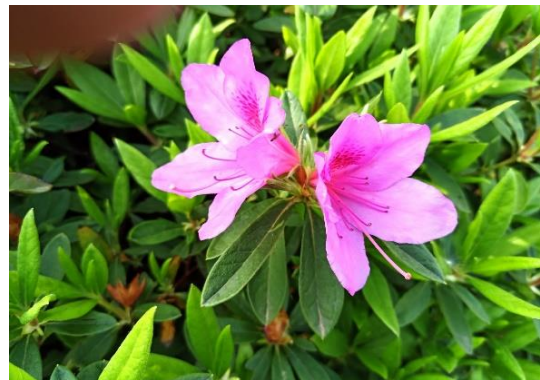
議 長：藤田 透、記録：神澤良明

【議 題】

1. 会務報告

錦事務局長から 2022 年度の事務局報告があった。

詳細は前記述と重複するので割愛する。



2. 事業報告

詳細は前記述の通り

3. 2022 年度収支決算報告

FAR 会 2022 年度収支決算書

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

収 入 の 部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
前 年 度 繰 越	942,495	942,495	
年 度 会 費	150,000	146,000	73 名
新 入 会 分	10,000	2,000	
寄 付 金	30,000	120,000	代表理事 1 万円×2、川村義彦 10 万円
広 告 料	0	0	
懇 親 会 費	500,000	737,000	春の懇親 260,000、歓送迎会 202,000、 秋の懇親 275,000
雑収入（利子等）	10,000	22,002	死亡退会会員会費繰り入れ （伊藤博美：2022-2024、橋本廣信：2022-2023、 水谷 宏：2022-2024）、（川野 誠：過去会費 2021）、退会（清水久子：2023-2024）、 銀行利子 4/1:1 円、銀行利子 10/1:1 円
合 計	1,642,495	1,969,497	

支 出 の 部

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
情 報 誌 作 成 費	30,000	30,000	情報誌 63 号、64 号、65 号編集費
懇 親 会 経 費	500,000	706,450	春の懇親：234,000 円、宮高・井口・錦 歓送迎 会：209,950 円（宴会経費＋会長交際費）、 秋の懇親：262,500 円
会 議 費	30,000	0	
運 営 旅 費	50,000	49,980	情報誌 63 号、64 号、65 号発送作業に係る交通費
通 信 郵 送 費	70,000	43,763	メーリングリスト年会費＋手数料、 情報誌 63 号、64 号、65 号郵送料等
事 務 用 品 費	50,000	33,150	情報誌 63 号、64 号、65 号印刷代、用紙代等
新 規 事 業 費	10,000	0	
雑 費	5,000	2,519	メーリングリスト振替手数料等
（払込手数料等）	5,000	0	
次 年 度 繰 越 金	892,495	1,103,635	
合 計	1,642,495	1,969,497	

4. 会計監査報告

会計監査報告書 FAR 会 藤田 透 会長殿 令和 5 年 3 月 7 日 FAR 会 会計監査 前田幸一 FAR 会の令和 4 年度会計監査について下記のように報告いたします。 記 私前田幸一は令和 4 年度収支計算書・会費納入台帳・預金通帳・振替貯金・現金出納帳・及び領収書などの提出を受け、詳細に精査いたしました。 収入項目及び金額・支出項目及び金額など記載に間違いなく管理されていることを報告いたします。
--

2022 年度収支決算書および会計監査は報告書の通り承認された。

《2023 年度事業計画》

1) 世話人会

①第 1 回世話人会

日 時：2023 年 4 月 15 日(土)15：00～16：30

場 所：パシフィコ横浜会議センター 4F 422 会議室

横浜市西区みなとみらい 1-1-1 TEL：045-221-2155(総合案内)

議 題：2022 年度 事業報告・収支決算書報告並びに、会計監査報告

2023 年度 事業計画(案)・収支予算(案) 等

②第 2 回世話人会

日 時：2023 年 10 月 27 日(金)

場 所：名古屋国際会議場(名古屋市熱田区)

議 題：会務報告、事務局報告等(詳細は後日連絡)

2) 運営委員会・総務委員会合同委員会

2024 年 1 月京都にて開催予定

3) 懇親会

①「2023 年 FAR 会 懇親の夕べ」の開催(代表幹事：佐藤幸光)

日 時：2023 年 4 月 15 日(土)午後 7 時～9 時

場 所：横浜中華街 「菜香新館」(広東料理) 〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 192

会 費：10,000 円

参加者：28 名



②「2023 年 FAR 会秋季懇親の夕べ」(代表幹事：藤田卓造、幹事：内山幸男、本間龍夫)

日 時：2023 年 10 月 27 日(金)19 時から 2 時間(予定)

場 所：ANA クラウンプラザホテル グランコート名古屋内 中国料理「花梨」

名古屋市中区金山町一丁目 1 番 1 号 TEL052-683-4111

会 費：10,000 円(予定)

③「2024 年 FAR 会懇親の夕べ」(代表幹事：江島光弘)

日 時：第 80 回総会学術大会時 2024 年 4 月 11 日(木)～14 日(日)

場 所：横浜(詳細は未定)

詳細は 2023 年度第 2 回世話人会議までに小水副会長がサポートし、第 2 回世話人会議に提案。

④「2024 年 FAR 会秋季懇親の夕べ」

第 52 回秋季学術大会(JSRT、JART 合同学術大会となる)

会 期：2024 年 10 月 31 日(木)～11 月 3 日(日)

大会長：JSRT は代表理事、JART は会長、JSRT 実行委員長・奥田保男

会 場：沖縄コンベンションセンター

〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜 4-3-1

世話人会議・懇親活動については開催地が沖縄であり宿泊、交通、費用等不明な事項が多いことを考慮して未定、2023 年度第 2 回世話人会で決めることとした。

4) 情報誌

①情報誌第 66 号を 2023 年 5 月 15 日発行予定

②情報誌第 67 号を 2023 年 9 月 15 日発行予定

③情報誌第 68 号を 2024 年 1 月 15 日発行予定



5) 2023 年度収支予算(案)

下記の提案通り承認された。

FAR 会 2023 年度収支予算書

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

収 入 の 部

科 目	前年度予算額	予 算 額	備 考
前 年 度 繰 越	942,495	1,103,635	
年 度 会 費	150,000	146,000	72 名
新 入 会 分	10,000	10,000	5 名
寄 付 金	30,000	30,000	
広 告 料	0	0	
懇 親 会 費	500,000	500,000	春の懇親 250,000、秋の懇親 250,000
雑収入(利子等)	10,000	10,000	
合 計	1,642,495	1,799,635	

支 出 の 部

科 目	前年度予算額	予 算 額	備 考
情 報 誌 作 成 費	30,000	30,000	情報誌 66 号、67 号、68 号編集費

懇親会経費	500,000	500,000	春・秋 各々25名
会議費	30,000	30,000	
運営旅費	50,000	50,000	情報誌66号、67号、68号発送作業に係る交通費
通信郵送費	70,000	70,000	メーリングリスト年会費、手数料、情報誌66号、67号、68号送料等
事務用品費	50,000	50,000	情報誌66号、67号、68号印刷代、用紙代等
新規事業費	10,000	10,000	
雑費	5,000	5,000	
(払込手数料等)	5,000	5,000	
次年度繰越金	892,495	1,049,635	
合計	1,642,495	1,799,635	

6) その他

新入会員加入策について下記の提案があった。

1. JSRT ホームページで FAR 会の入り口の整備を要望する。
2. FAR 会入会方法の簡素化と、Web での入会方法を考える。
3. 学術大会時に FAR 会のデスクを作り入会を呼びかける。

《JSRT 情報》

『第 51 回秋季学術大会』 大会テーマ：Go into the future
— 一つ先の未来 —

大会長：小山修司(名古屋大学)
会 期：2023 年 10 月 27 日(金)～29 日(日)
会 場：名古屋国際会議場



『第 80 回総会学術大会』 大会テーマ：「変革の時代を先導する」
Leading an Era of Transformation

大会長：根岸 徹(東京都立大学)
会 期：2024 年 4 月 11 日(木)～14 日(日)
会 場：パシフィコ横浜



《編集の小窓》

以前、ヒヨドリが「ハマヒサカキ」や「ヤブラン」「ヘクソカズラ」の実をベランダに運んで来ると書きました。今日までにヒヨドリが運んできた草木の実の一部が育ったことで、それらの名称を知ることができました。今回は、その草木の花や実とその時期や特徴、分布などについてまとめてみました。(記載内容はフリー百科事典『ウィキペディア』を参照しました。開花・実の時期は地方により異なります。)



ハマヒサカキ

【ハマヒサカキ】

サカキ科・ヒサカキ属

分布：本州(千葉と愛知以西)、四国、九州、沖縄

開花：10～12月

結実：12～3月(花の後、または花と同時に実ができる)

径 約 5mm

特徴：海岸近くに多く、潮風や乾燥に強く街路樹(樹高 5m)などに利用。花はプロパンガスに付けてある臭いをする。

育成期間：4年



ヤブラン

【ヤブラン】

ユリ科・ヤブラン属

分布：本州(関東地方以西)、四国及び九州

開花：7月～9月

結実：10月～11月、径 約 5mm

特徴：多年草、ランではない。山野の林内で樹木の下草として自生。

育成期間：4年



ヘクソカズラ

【ヘクソカズラ】

アカネ科・ヘクソカズラ属

分布：日本全土

開花：7～9月

結実：10～2月、径 約 6mm

特徴：多年草、冬にツルは枯れる。葉や茎などを傷つけると、悪臭を放つことから屁屎カズラといわれる。悪臭成分はメチルメルカプタン。

繁殖力が強く駆除対象。

育成期間：4年



ヤブコウジ

【ヤブコウジ】

サクラソウ科 ヤブコウジ属

分布：日本全土

開花：7～8月

結実：10～11月、径5～6mm

特徴：丘陵地林内の木陰に自生。

地下茎で増え、群生する。

高さは10～30cm。名前の由来は小さな実がコウジ(ミカン)に似ているから。

(葉は八王子の寒さによって変色してしまいました。)

育成期間：3年



野バラ

【野バラ】

バラ科・バラ属

分布：日本全土

開花：4～6月

結実：10～11月、径5～6mm

特徴：果皮は薄い。花は芳香が

あり蒸留して香水の原料や

花材に、果実は甘味があっ

て食べることができて、薬用

にもなる。

育成期間：3年



ヒサカキ

【ヒサカキ】

サカキ科・ヒサカキ属

分布：本州(岩手県、秋田県以西)～沖縄

開花：3～4月

結実：10～12月、径約4mm

特徴：樹高はサカキよりやや小型で

4～7m程度。葉縁には鋸歯

(きよし)がある。雌雄異体。

名称は「姫サカキ」が転訛し

た。花はプロパンガスに付け

てある臭いがする。

育成期間：2年



ウメモドキ

【ウメモドキ】

モチノキ科・モチノキ属

分布：本州、四国、九州

開花：5～7月

結実：9～12月、径 7～8mm

特徴：樹高は2～3m。

名前は葉の形がウメの葉に似ていることから付いた。

雌雄異体。

育成期間：2年



ナワシログミ

【ナワシログミ】

グミ科・グミ属

分布：本州(関東以西)、四国、九州

開花：10～11月、6～7mm

結実：4～5月、長さ15mm

特徴：樹高2.5m程。葉や茎には毛が多く、茎にトゲがある。

稲の苗代を作るころに果実が熟すことから名付けられた。(グミは私も幼いころ食した記憶があります。)

育成期間：2年

現在、ヒヨドリが運んできた草木で確認できたのは以上の8種類でした。これらはヒヨドリが採餌している実の中でも、ほんの一部だと思います。ベランダの植木鉢で育ったのは、様々な条件がそろった草木だけだとすると更に少ない種類しか確認できていないことになります。コントロールの難しい確認作業でした。

注意して観ていると、この8種類の草木を近所の公園や生け垣、植え込みで見つけることができます。時々つつじの植え込みなどから、グミやサカキが大きく伸びているのを見つけると、ひょっとするとヒヨドリたちの仕業かもしれないと思うことで、自然の営みをより身近に感じます。

確認済みの草木はこのまま育てて盆栽仕立てにでもしようかと思っています。

江島光弘、記



ヒヨドリ

FAR 情報誌 No. 66(非売品)

発行日 2023年5月15日

発行者 藤田 透

編集委員会

森 克彦 (委員長)

石井 勉 (委員)

江島光弘 (々)

小川 清 (々)

山田和美 (顧問)



連絡先

Tele. faxed : 049-225-2619

Email : mokamokawh@gmail.com

mo-katsu@jt4.so-net.ne.jp